

殺虫殺菌剤

技術資料

“諦めていた虫※1”にも
殺虫・殺菌スプレーの頂点へ

世界初！5種類の成分配合

手が疲れにくいトリガー採用！

虫／病気 花 野菜※2 庭木 観葉植物

速効・持続

葉を食べる虫

抵抗性害虫※3

病気予防・治療

雨に強い※4

ベニカXネクスト® スプレー

Q & A



商 品 名	ベニカXネクスト® スプレー	
登 録 番 号	農林水産省登録第24117号	
成 分 (含有量)	還元澱粉糖化物	(0.60%)
	クロチアニジン	(0.0080%)
	ピリダリル	(0.010%)
	ペルメトリン	(0.010%)
	マンデストロビン	(0.020%)
性 状	類白色水和性懸濁液体	
種 類 名	還元澱粉糖化物・クロチアニジン・ピリダリル・ ペルメトリン・マンデストロビン水和剤	
容 量	1000mℓ	

※1 大きくなったハスモンヨトウ、オオタバコガの幼虫 ※2 トマト、きゅうり、なす、キャベツ、レタス、リーフレタス、メロン ※3 他の殺虫成分に抵抗性のあるアブラムシ、ハダニ ※4 クロチアニジン、マンデストロビンの浸透移行性

(ベニカXネクストは登録商標)

CONTENTS

はじめに	2
Q1 ベニカXネクスト®スプレー の特長を教えてください。.....	3
Q2 ベニカXネクスト®スプレー の有効成分について教えてください。.....	3
Q3 登録内容を教えてください。.....	4
Q4 効果試験などあれば教えてください。.....	4
Q5 トリガーとボトルにどのような工夫がされているのですか?.....	7
Q6 製剤で工夫していることはありますか?.....	8
Q7 使い方を教えてください。.....	9
Q8 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。.....	9
Q9 使用上の注意点があれば教えてください。.....	10
Q10 散布液による汚損の心配はありませんか?.....	10
参考: 委託試験成績	11

はじめに

世界初! ～5つの有効成分を配合～

虫も病気も一度に退治できる殺虫殺菌スプレー剤として、殺虫成分（ペルメトリン）と殺菌成分（ミクロブタニル）の2種類を混合した**ベニカX®スプレー**が誕生したのが2003年。その後継品として2010年に上市された**ベニカXファイン®スプレー**は3つの成分（殺虫成分クロチアニジン、フェンプロパトリンと殺菌成分メパニピリム）の混合剤で、花き類・観葉植物、樹木類、野菜（トマト、なす、きゅうり）といった適用作物の充実を図ることで、より多くの家庭園芸愛好家から支持され続けています。

そして2019年、家庭園芸用殺虫殺菌スプレー剤としては世界初となる5つの作用性の異なる有効成分を配合した**ベニカXネクスト®スプレー**を上市することとなりました。

新開発! ～手が疲れない楽々トリガー～

日ごろ、病害虫対策にスプレー剤を使われる方に使用感を尋ねると「便利だけど手が疲れる」といった声を頂くことがあります。**ベニカXネクスト®スプレー**は従来品に比べ、約1.6倍の長さのトリガーを採用しました。トリガーを長くすることで従来の約60%の力で楽に噴霧できるようになりました（ワイド噴射の場合）。「トリガーを長くする」という単純な工夫ですが、高齢化社会が進む中、園芸作業が少しでも楽に疲れずに行えるよう、製品作りにおいてよりきめ細かな工夫がますます大切になってくると考えます。

次のステージへ ～園芸がもっと快適に、もっと楽しくなるようにサポートしたい～

住友化学園芸はこれまで様々な園芸用品を開発してきましたが、これから先も園芸愛好家の方々が園芸をもっと快適に、もっと楽しむ為に、従来の製品作りにとらわれずに工夫を重ね、園芸用品の次のステージへ進みたいと考えています。

（ベニカX、ベニカXファイン、ベニカXネクストは登録商標）



Q1. ベニカXネクスト®スプレーの特長を教えてください。

A1. ベニカXネクスト®スプレーの特長は次のとおりです。

- 花、庭木、野菜など幅広い植物に使える、化学防除成分と物理防除成分を組み合わせた殺虫殺菌スプレーです。
- 害虫に素早く、長く(アブラムシ 1ヵ月)効き、退治の難しいチョウ目老齢幼虫(ハスモンヨトウ、オオタバコガ)、薬剤抵抗性害虫(アブラムシ、ハダニ)にも効き、病気の予防・治療にも効果的です。



Q2. ベニカXネクスト®スプレーの有効成分について教えてください。

A2. ベニカXネクスト®スプレーの有効成分とその特長は次のとおりです。

家庭園芸用スプレー剤としては世界初となる5種混合剤です。

殺虫成分と殺菌成分、物理防除剤と化学防除剤など作用性の異なる有効成分の組み合わせにより、病害虫を効果的に防除します。

作用	成分	特 長
殺虫 殺菌	還元澱粉糖化物	物理防除。害虫や病気を包み込んで退治する。化学合成剤に抵抗性のある害虫や耐性のある菌にも効果的。
殺虫	クロチアニジン	浸透移行性により葉や茎から吸収され植物全体に成分が広がるので雨が降っても流れない。効果は約1ヵ月持続(アブラムシ)して害虫の再発生を抑える。
殺虫	ピリダリル	退治の難しいチョウ目老齢幼虫(ハスモンヨトウ、オオタバコガ)にも効果的。既存の殺虫剤とは異なる作用で、既存剤(有機リン剤、カーバメート剤、合成ピレスロイド剤等)に薬剤抵抗性を発達させた害虫にも高い殺虫活性を示す。耐雨性もある。
殺虫	ベルメトリン	速効性。ノックダウン効果で害虫をすばやく退治するので、確かな使用感が得られる。
殺菌	マンデストロピン	浸達性、浸透移行性 のある殺菌成分。葉や茎から浸透して効果が持続するので雨が降っても流れない。病気の予防と治療に効果的。

補足

マンデストロピンの浸達性と浸透移行性について

浸達性… 浸達性試験(葉表に薬剤処理し、葉裏に病原菌を接種する試験)において効果を確認しています。これにより、マンデストロピンは処理後速やかに植物体内に吸収され、未処理面にも移行することが示されました。本性質を有することで、実使用場面において薬剤の処理面に多少の偏りがあっても、葉全面に対して防除効果が期待できます。

浸透移行性… 処理1日後には葉内において葉先端への移行が確認され、マンデストロピンは浸透移行性を有することが明らかとなりました。実使用場面では植物が繁茂し散布むらが生じやすく、未処理部位への浸透移行性が求められる場面や、適切なタイミングで散布ができず治療効果が求められる場面がありますが、マンデストロピンの浸透移行性は、このような場面においても有効に作用することが期待できます。



Q3. 登録内容を教えてください。

A3. ベニカXネクスト®スプレーの登録内容は次のとおりです。

【適用病害虫と使用方法】※印は収獲物への残留回避のため、本剤及びそれぞれの有効成分を含む農薬の総使用回数の制限を示す。

作物名	適用病害虫名	使用 時期	総使用回数※					
			本剤	還元澱粉 糖化物	クロチアニジン	ピリダリル	ベルメトリン	マンデストロビン
ばら	アザミウマ類、アブラムシ類、オオタバコガ、クロケシツブチョッキリ、コガネムシ類成虫、ゴマダラカミキリ成虫、チュウレンジハバチ、ハスモンヨトウ、ハダニ類、うどんこ病、黒星病	発生 初期	4回 以内	－	4回以内	4回以内	6回以内	4回以内
カーネーション	アザミウマ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハダニ類、うどんこ病				4回以内			
ガーベラ	アザミウマ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、ハモグリバエ類、うどんこ病							
バーベナ	アザミウマ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、コナジラミ類、うどんこ病							
花き類・観葉植物 (ばら、カーネーション、 ガーベラ、バーベナを除く)	アザミウマ類、アブラムシ類、ハスモンヨトウ、うどんこ病							
つつじ類	アブラムシ類、ケムシ類、ツツジグンバイ、うどんこ病		6回 以内			6回以内	6回以内	6回以内
ひいらぎもくせい	アブラムシ類、ケムシ類、ヘリグロテントウノミハムシ、うどんこ病							
まさき	アブラムシ類、ケムシ類、アオバハゴロモ、うどんこ病							
クロトン	アブラムシ類、ケムシ類、ミカンヒメコナカイガラムシ、うどんこ病							
さるすべり	アブラムシ類、ケムシ類、カイガラムシ類、うどんこ病							
樹木類(つつじ類、 ひいらぎもくせい、まさき、 クロトン、さるすべりを除く)	アブラムシ類、ケムシ類、うどんこ病	収穫前 日まで	2回 以内		4回以内(育苗期の 株元処理及び定植時の土壌混 和は合計1回以内、散布及び定植 後の株元散布は合計3回以内)	2回以内	3回以内	3回以内
トマト	オオタバコガ、コナジラミ類		3回 以内			4回以内		
きゅうり	アブラムシ類、ウリハムシ、うどんこ病		2回 以内		3回以内(定植時 までの処理は1回以内、定植後の 散布は2回以内)	2回以内	5回以内(株元灌 注は2回以内)	
なす	アブラムシ類、テントウムシダマシ類、ハダニ類、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、うどんこ病						5回以内	
メロン	アブラムシ類						5回以内	
キャベツ	アオムシ、コナガ、ハスモンヨトウ、オオタバコガ、菌核病						5回以内	
はくさい	アオムシ						5回以内	
レタス	アブラムシ類、ハスモンヨトウ						5回以内	
リーフレタス	アブラムシ類						2回以内	

●希釈倍数：原液 ●使用方法：散布

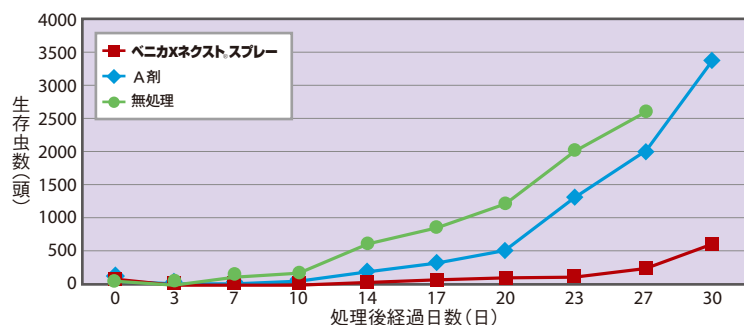


Q4. 効果試験などあれば教えてください。

A4. 試験結果は次のとおりです。

殺虫効果が持続する

この試験では、なすのモモアカアブラムシに対してベニカXネクスト®スプレーが約1ヵ月の効果持続性を示すことを確認しました。



【試験方法】なすにアブラムシを10頭/株放虫(3/11)し、定着確認後に供試製剤を処理し3日後、7日後に生存虫数を調査した。調査後は1週間間隔で10頭/株を繰り返し放虫し、生存虫数を調査した。

【供試植物】なす(品種：西部) 定植：3/5 6号鉢(5～6葉期)
元肥：エードボールCa 6粒

【供試虫】モモアカアブラムシ(自然発生)

【処理時状況】2018/3/13 時間：15:30 天候：晴
気温：25.8℃ 湿度：33%

【調査日】処理前(3/13)、3日後(3/16)、7日後(3/20)、10日後(3/23)、14日後(3/27)、17日後(3/30)、20日後(4/2)、23日後(4/5)、27日後(4/9)、30日後(4/12)

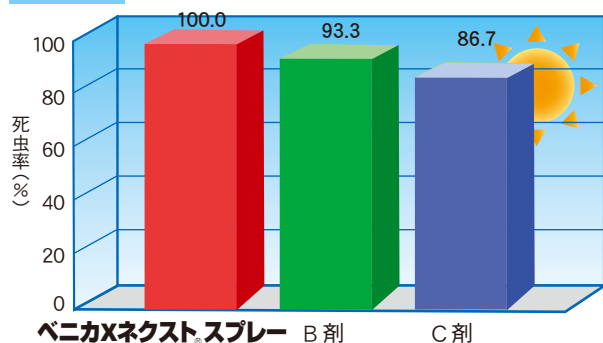
【試験場所】弊社製品開発センター

雨に強い

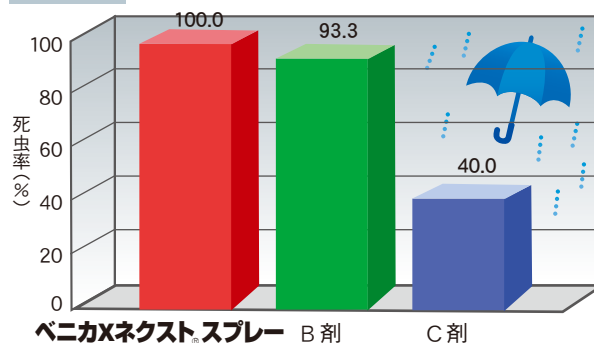
この試験では降雨の有無が殺虫効果にどの程度の影響を及ぼすかを確認しました。薬剤散布後の降雨を想定して散水を行い、その2週間後にヨトウムシに葉を食べさせて効果を確認したところ、**ベニカXネクスト®スプレー**は降雨の有無に係らず、高い効果が持続することが確認できました。

■散布2週間後の死虫率(%)

降雨なし



降雨あり

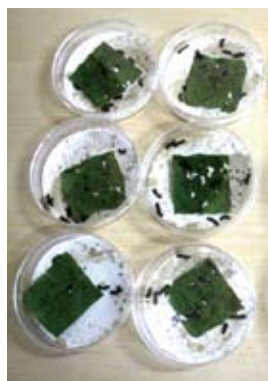


【試験方法】なすに供試薬剤を十分量散布処理し処理葉をマークした。降雨条件は葉液が乾いた後に1時間に20mmの降雨として頭上灌水を行った。調査は処理葉を2週間目に採取し、5cm×5cmサイズにカットし、ろ紙を敷いたシャーレに設置後、ハスモンヨトウ若齢～中齢を10頭放虫し翌日の死亡頭数を調査した。

【試験期間】2018/4/25～5/29 【供試植物】なす(品種：千両2号5～6葉期4/19定植) 【供試虫】ハスモンヨトウ

【試験規模】1区6株3シャーレ(3葉)(10頭/シャーレ) 【試験場所】弊社製品開発センター

参考：降雨処理5週間後、処理葉にハスモンヨトウを放虫し、1日後の食害の様子



ベニカXネクスト®スプレー



【B剤】

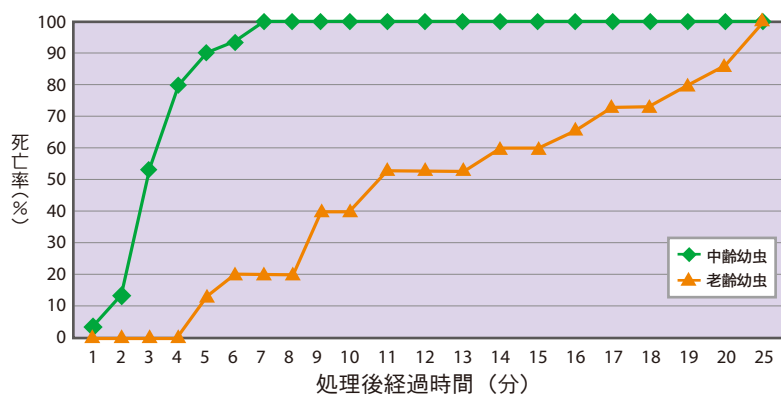


【C剤】

大型害虫にも効く

速効性：この試験では **ベニカXネクスト®スプレー** が大型化するにしたがって退治が難しくなるハスモンヨトウの中～老齢幼虫に対してもすばやく作用し、高い殺虫効果を示すことを確認しました。

■ベニカXネクスト®スプレーのハスモンヨトウ(中齢・老齢幼虫)に対する効果



【試験方法】ろ紙を2枚敷いたプラスチックシャーレ(直径90mm)にハスモンヨトウを放虫後、供試薬剤を5回スプレー処理し、経時的に反応および死亡頭数を調査した。

【対象害虫】ハスモンヨトウ

【試験規模】中齢：1区10頭3反復

老齢：1区5頭3反復

【調査日】中齢：2018/3/8

老齢：2018/4/9

【処理時状況】中齢：2018/3/8 室内試験(室温22℃)

老齢：2018/4/9 室内試験(室温22℃)

【試験場所】弊社製品開発センター

病気の予防と治療

この試験では、きゅうりのうどんこ病に対して、**ベニカXネクスト®スプレー**が発病初期の散布で高い防除効果を示すことを確認しています。

ベニカXネクスト®スプレー のきゅうりうどんこ病に対する殺菌効果(3回目散布6日後)

供試製剤	希釈倍率	調査葉枚数	程度別発病葉数					発病葉率(%)	発病度	判定/防除価
			0	1	2	3	4			
ベニカXネクスト®スプレー	原液散布	53	11.3	2.4	0.0	0.0	0.0	15.6	3.9	93.4/A
無処理区(元肥のみ)	—	51	1.7	2.8	2.3	1.3	4.8	87.3	59.5	—

※判定のアルファベットは日本植物防疫協会の新農薬実用化試験判定基準に従った。
※調査は全葉調査とした。

【試験方法】きゅうりのうどんこ病初発確認後、各供試製剤を十分量散布処理した。処理は1週間間隔で3回行い、最終処理6日後、程度別に発病度を調査し防除価を算出した。調査時には目視にて葉害の有無を調査した。

【供試植物】きゅうり(品種:北進)(播種:3/8) 6号鉢(元肥:マイガーデン植物全般用推奨量) 【試験規模】1区4株3反復

【処理時状況】1回目:2016/4/21 16:00 天候:雨 20.0℃ 81%; 2回目:2016/4/28 11:00 天候:曇 23.5℃ 68%; 3回目:2016/5/6 14:15 天候:雨 20.9℃ 72%

【調査日】2016/5/12 【処理後の降雨の影響】温室内のため影響無し

【判定基準】発病度=Σ(程度別発病葉数×指数)×100/(調査葉数)×4(指数0:発病なし、1:発病面積が葉面積の5%未満、2:発病面積が葉面積の5%~25%、

3:発病面積が葉面積の25%~50%、4:発病面積が葉面積の50%以上) 防除価=100-処理区の発病/無処理区の発病×100

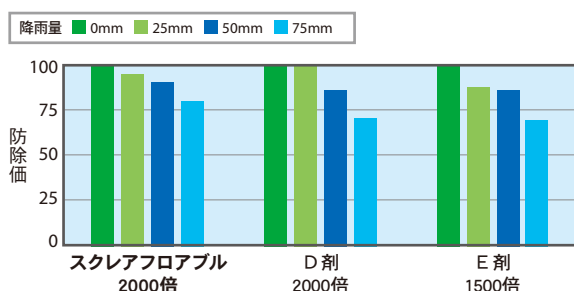
【試験場所】弊社製品開発センター

参考

ベニカXネクスト®スプレーの殺菌成分であるマンデストロピンは住友化学株式会社が新規開発した殺菌剤スクレアフロアブルの有効成分です。ここではスクレアフロアブルの技術資料から抜粋したマンデストロピンの特長をご紹介します。

耐雨性(ダイズ菌核病)

降雨による効果低減はほとんどみられません。



【実施年】2015年 【試験場所】住友化学(株)宝塚研究所 【品種】大豆(黒千石)

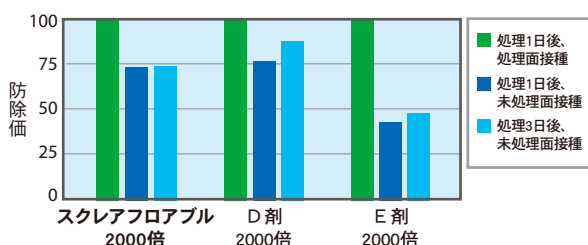
【規模】1区2ポット3反復 【散布量】60ml/6ポット 【散布日】1月22日

【接種日】1月23日 【調査日】1月27日

【試験方法】ダイズ第2本葉展開期に本葉を除去し初生葉に十分量散布した。散布翌日に25mm/hの強度で1、2、3時間降雨させ、風乾後に病原菌のPDA培養物を摩擦し50μlスポット接種した。接種4日後に病斑径を測定し防除価を算出した。

浸達性(ダイズ菌核病)

マンデストロピンは散布された箇所から植物体に浸透するので、散布後に侵入した菌にも有効です。



【実施年】2015年 【試験場所】住友化学(株)宝塚研究所 【品種】大豆(黒千石)

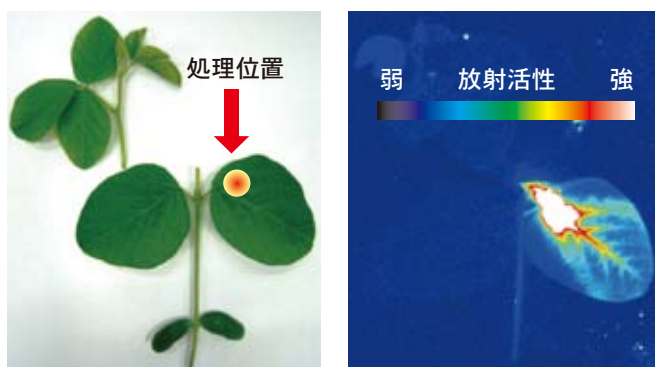
【規模】1区2ポット3反復 【散布量】60ml/6ポット 【散布日】2月18日

【接種日】2月19日、21日 【調査日】2月23日、25日

【試験方法】ダイズ第2本葉展開期に本葉を除去し初生葉の表面に十分量散布した。所定日に病原菌のPDA培養物を摩擦し、薬液処理面又は未処理面に50μlスポット接種した。接種4日後に病斑径を測定し防除価を算出した。

浸透移行性(大豆)

マンデストロピンは散布した箇所から植物体内に浸透するだけでなく、そこから植物体内に移行する性質もあります。



【実施年】2013年

【試験場所】住友化学(株)宝塚研究所

【品種】大豆(黒千石)

【試験方法】RI標識したマンデストロピンをダイズの本葉に10μl処理し一晩乾燥させた。Typhoonを用いたオートラジオグラム分析によって植物体内の標識マンデストロピンを視覚化した。



Q5. トリガーとボトルにどのような工夫がされているのですか？

A5. ベニカXネクスト[®]スプレーには新開発のトリガーを採用しています。従来に比べ約 1.6 倍の長さのトリガーを採用しました。トリガーを長くすることで、指 3 本(人差指、中指、薬指)でトリガーを引くことができ、またテコの原理により当社従来品の約 60 ～ 80%の力で噴霧することができます。

●新規トリガーの利便性

指3本で余裕で握れる
ロングトリガー
軽い力で引けるので
散布がらくらく



【新規トリガー】

【従来トリガー】

●新規ボトルの利便性

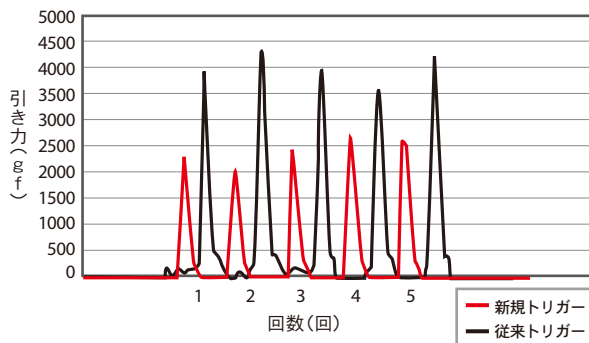


陳列棚では隣のボトルとの間に適度なすき間ができるので、自然な動作で手に取りやすい。

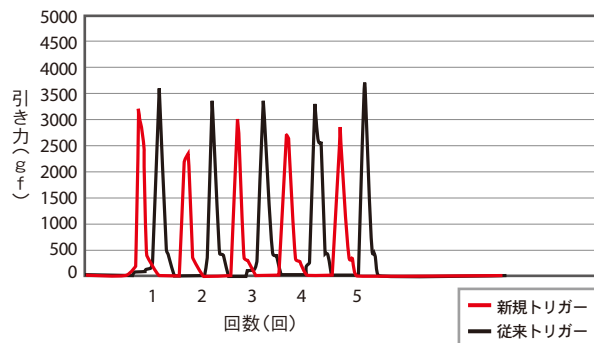
使用法はボトルの裏面に記載され、右手でめくるブック式になっています。記載内容を確認する際、ボトルを左手で持つと丁度、親指から掌にかけてボトルのくびれ部分にフィットするので、自然と持ちやすく、読みやすい！



■新規トリガーと従来トリガーの引き力比較(ワイド噴射)



■新規トリガーと従来トリガーの引き力比較(フォーカス噴射)



	長さ	応力平均値(gf) (ワイド噴射)	応力平均値(gf) (フォーカス噴射)
新規トリガー	68mm	2392	2818
従来トリガー	43mm	4000	3472
従来比	158%	59.8%	81.2%

【試験方法】応力試験機でトリガー押し込み時の応力を測定
 【試験期間】2018/8/22
 【試験規模】n=5
 【試験場所】弊社製品開発センター

参考:トリガーの使用感についてのインタビュー

様々な年代で、握力や指の長さの異なる方にトリガーの使用感についてインタビューを行いました。
従来品に比べ新規トリガーは3本の指でしっかり引け、引いた感触も軽いので、連続散布をしても疲れにくいと感じていただけることが確認できました。

【手が疲れたと感じるまでにトリガーを引いた回数】

性別	年代	利き手握力 (kg)	親指の付け根～ 薬指の先(cm)	連続散布で手の疲れを感じた回数			トリガーを引く ときの指の数	使用感
				従来	新規	新規/従来		
男	20代	39.1	13.5	60	86	143.3%	3本	凄く軽い
男	20代	40.7	16	47	70	148.9%	3本	軽い
男	20代	46.1	13	17	22	129.4%	3本	軽い
男	30代	49.5	16	69	83	120.3%	3本	軽い
男	20代	45.0	13.5	40	49	122.5%	3本	軽い
女	20代	23.0	11.0	20	31	155.0%	3本	軽い
女	30代	22.5	11.5	62	112	180.7%	3本	軽い
女	30代	26.0	12.5	44	200	454.6%	3本	凄く軽い
女	30代	30.4	11	38	54	142.1%	3本	軽い
男	40代	40.6	12.5	43	85	197.7%	3本	軽い
男	40代	41.8	13.5	50	90	180.0%	3本	軽い
女	40代	17.1	10.5	39	48	123.1%	3本	変わらない
男	50代	43.9	13.5	17	32	188.2%	3本	軽い
女	50代	33.8	13.5	51	105	205.9%	3本	凄く軽い
男	60代	40.9	12	101	106	105.0%	3本	変わらない
男	60代	33.0	12.5	72	124	172.2%	3本	軽い
男	60代	32.1	13.0	45	59	131.1%	3本	軽い

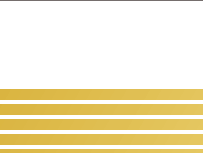
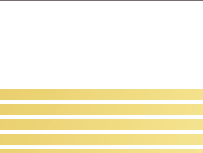
【測定期間】2018/8/9～9/5 【測定方法】噴口を「ワイド」にあわせ、水の入ったスプレーボトルで連続噴霧し、手に疲れを感じ始めた時点での回数を測定。
トリガーを引く測定回数の上限は200回までとした。【測定場所】弊社社内



Q6. 製剤で工夫していることはありますか？

A6. ベニカXネクストスプレー はこれまでの弊社スプレー剤と同様、独自の製剤技術により展着性（薬のつきやすさ）を向上させています。どれほどすぐれた有効成分でも散布液が対象となる植物や害虫にしっかりと付着しなくては十分な効果は得られません。

ベニカXネクストスプレー は有効成分そのものの効果が高いだけでなく、高い展着性の技術により均一に散布しやすく、病虫害に的確に作用し、より確実に高い効果をあらわします。

	接触角	表面張力		ベニカXネクストスプレー	イオン交換水
ベニカXネクストスプレー	48.3	34.4	表面張力		
B剤	43.9	32.6			
N剤	60.1	40.8			
A剤	62.2	39.8	接触角		
イオン交換水	71.5	72.3			

表面張力：数値が低いほど濡れ性が良い
接触角：数値が低いほど濡れ性が良い

【測定日】2018/7/23

【測定場所】弊社製品開発センター

Q7. 使い方を教えてください。

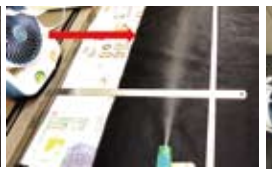
A7. ベニカXネクスト®スプレー の使用方法是以下のとおりです。

使用場面にあわせてノズルを切り替え 使用前にストッパーを引き抜く 【使い方】 ▼又は↑を上部に合わせて、トリガーをまっすぐ引いて使用する。 ✕ … 噴霧できません。使用後はこのマークを上部に合わせる。 ↑ フォーカス … 集中散布 ケムシなど、狙いを定めて散布しやすい ▼ ワイド … ムラなく広範囲 病気予防など、株全体に散布しやすい	 △注意 ●破損、液漏れをさけるため、落下や横転させない。横置きしない。 又、✕でトリガーを引かない。 ●噴口を人に向けてない。 ●他の液を入れない。 ●残液が少ない場合、散布角度によって、出にくくなることもある。	逆さ散布で葉裏にもまきやすい 
--	--	---

切り替えノズル 使用場面に合せて広角(ワイド)と狭角(フォーカス)の切り替えが可能です。

ワイド ～ムラなく広範囲～ 病気予防など、株全体に散布しやすい  実用最大飛距離約 2 m (無風条件、水平方向)  広範囲に、散布ムラの少ない噴霧跡 30 cmの距離から 32×38cmの紙に 10 回散布	フォーカス ～集中散布～ 高い所にも便利 ケムシなど、狙いを定めて散布しやすい  実用最大飛距離約 3 m (無風条件、水平方向)  集中的に高密度の噴霧跡 30 cmの距離から 32×38cmの紙に 10 回散布
--	---

風に強い 狭角(フォーカス)なら、風が吹いても噴霧が流されにくい！

ワイド 	フォーカス 	【試験時期】 2018/9/3 【試験場所】 弊社本社資材室(室内) 【試験条件】 送風機を設置し、 風速約 2 m/s ※の 軽風条件を作る。	※以下の風力階級表を参照 <table border="1"> <thead> <tr> <th>風力</th> <th>風速(m/s)</th> <th>陸上の状況</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>0</td> <td>0.0～0.2</td> <td>静穏、煙がまっすぐ上昇。</td> </tr> <tr> <td>1</td> <td>0.3～1.5</td> <td>煙がなびく。</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>1.6～3.3</td> <td>顔に風を感じる。 木の葉がゆれる。</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>3.4～5.4</td> <td>木の葉や細い枝がたえず 動く。旗がはためく。</td> </tr> </tbody> </table>	風力	風速(m/s)	陸上の状況	0	0.0～0.2	静穏、煙がまっすぐ上昇。	1	0.3～1.5	煙がなびく。	2	1.6～3.3	顔に風を感じる。 木の葉がゆれる。	3	3.4～5.4	木の葉や細い枝がたえず 動く。旗がはためく。
風力	風速(m/s)	陸上の状況																
0	0.0～0.2	静穏、煙がまっすぐ上昇。																
1	0.3～1.5	煙がなびく。																
2	1.6～3.3	顔に風を感じる。 木の葉がゆれる。																
3	3.4～5.4	木の葉や細い枝がたえず 動く。旗がはためく。																

高所にも届く 狭角(フォーカス)なら、庭木などの高所の葉にも噴霧が届く！

庭木 	生垣 
--	--

Q8. 人畜や環境に対する安全性情報を教えてください。

A8. ベニカXネクスト®スプレー の安全性に関するデータは下記の通りです。参考にしてください。

●人畜毒性 普通物相当(※1) ●急性経口毒性 LD₅₀(※2) ラット♀ > 2,000mg/kg ●急性経皮毒性 LD₅₀(※3) ラット♀ > 2,000mg/kg ●眼刺激性 刺激性なし(ウサギ) ●皮膚刺激性 刺激性なし(ウサギ) ●皮膚感作性 感作性なし(モルモット)	※1 農薬は毒性の強い順に特定毒物、毒物、劇物、普通物の4種類に分けられます。(普通物は毒劇物に該当しないものを指している通称です。) ※2 LD₅₀ : 半数致死薬量。薬物の投与実験で、50%の個体を死に至らしめる薬物量。供試動物の単位重量当りの薬物重量 (mg/kg、μg/g) で表す。(毒物 : LD₅₀ 値 50mg/kg 以下、劇物 : LD₅₀ 値 50mg/kg を超え 300mg/kg 以下) ※3 (毒物 : LD₅₀ 値 200mg/kg 以下、劇物 : LD₅₀ 値 200mg/kg を超え 1,000mg/kg 以下)
---	--



Q9. 使用上の注意点があれば教えてください。

A9. ベニカXネクスト[®]スプレーの使用上の注意事項は下記のとおりです。

【効果・薬害等の注意】

- 使用前に容器をよく振ってください(沈殿)。
- 使用に当っては使用方法などを誤らないよう注意してください。
- ミツバチ及び蚕に影響があるので、注意して使用してください。
- 花き類に使用する場合、花卉に薬液が飛散すると変色等の症状が出るおそれがありますので、花にかからないように注意してください。
- 適用作物群に属する作物又はその新品種に本剤を初めて使用する場合は、使用者の責任において事前に薬害の有無を十分確認してから使用してください。なお、病害虫防除所または販売店と相談することが望ましいです。

【安全使用上の注意】



- 体調のすぐれない時は散布しないでください。
 - 人に向かって噴射しないでください。
 - 散布時は、農業用マスク、手袋、長ズボン・長袖作業衣などを着用してください。作業後は直ちに手足、顔などを石けんでよく洗い、うがいをしてください。
 - かぶれやすい人は取扱いに十分注意してください。
 - 使用後の空容器は3回以上洗浄してから処理してください。
- 治療法：ペルメトリンにはメトカルバモール製剤の投与が有効(動物実験で報告)。



Q10. 散布液による汚損の心配はありませんか？

A10. 以下の材質について、汚損の有無を確認しています。

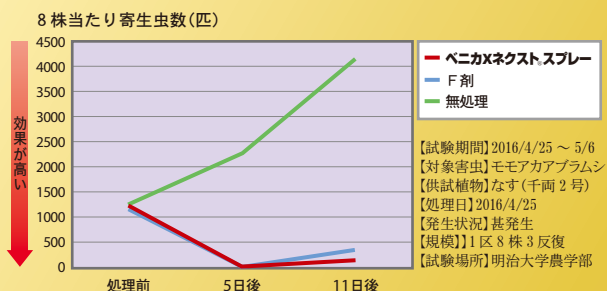
ベニカXネクスト[®]スプレーは以下の材質について汚損の有無を確認しました。大理石、絹、キュブラ、本草でしみが、レーヨン(縮緬)で収縮が確認されました。その他の材質での汚損の心配は少なく、しみが確認された材質でも中性洗剤による除去が可能であることを確認しました。

【汚損の有無を確認した材質】

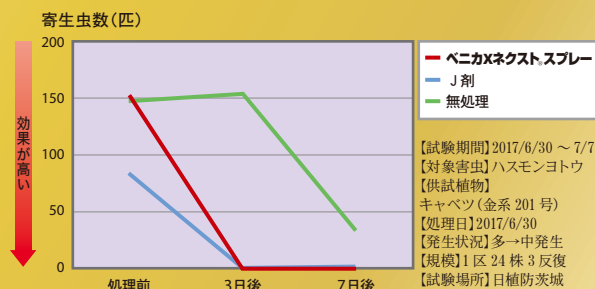
コンクリートA(表面なめらか)		—	【判定標準】 —：汚損が認められない ±：汚損が認められたが、洗浄により除去可能 +～+++++：洗浄による除去が不可能な汚損が認められる +：光の加減で汚損が判別できる程度 ++：汚損がわずかに認められる(表面の変形なし) +++：著しい汚損が認められる(表面の変形なし) ++++：表面の変形が認められる(表面のザラツキ、軟化など) +++++：表面の著しい変形が認められる(穴が開く、割れなど) かつこ内：(洗浄前→洗浄後)
コンクリートB(表面凸凹)		—	
ステンレス		±(しみ→除去)	
大理石		++(しみ→しみ)	
御影石		±(しみ→除去)	
プラスチック	ポリエチレン	±(しみ→除去)	
	ABS樹脂	±(しみ→除去)	
ウッドデッキ		—	
フローリング		±(しみ→除去)	
カーペット		—	
カーテン(ポリエステル100%)		—	
畳		—	
布	綿	—	
	麻	—	
	絹	+(しみ→しみ)	
	毛	—	
	レーヨン(縮緬)	++++ (収縮→収縮)	
	キュブラ	+(しみ→しみ)	
	アセテート	±(しみ→除去)	
	ポリエステル	—	
本革	ナイロン	—	【試験期間】 2018/8/22～8/29 【試験方法】 供試製剤を各素材に処理し、1週間後に汚損の有無を確認した。汚損が認められた試験区では、中性洗剤による汚損の除去が可能であるか確認した。 【試験規模】 1区1個 反復なし 【試験場所】 弊社製品開発センター ※スリットフェンス補修材：塩化ビニルに木目などを印刷し、アクリル樹脂をコーティングしたシート
	アクリル	—	
	人工皮革	±(しみ→除去)	
スリットフェンス補修材		±(しみ→除去)	

参考：委託試験成績

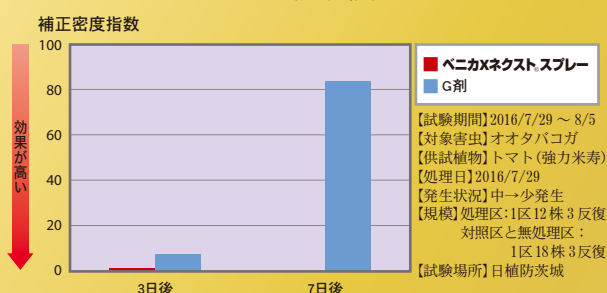
なすのモモアカアブラムシに対する防除効果



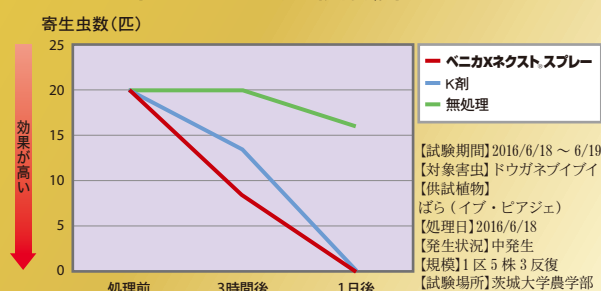
キャベツのハスモンヨトウに対する防除効果



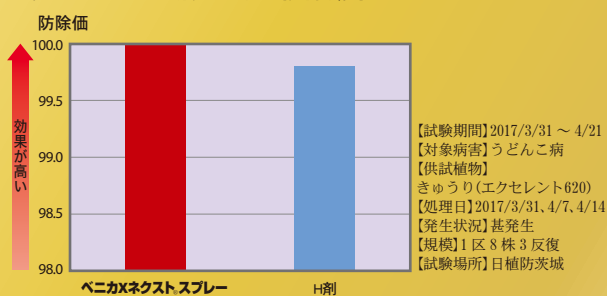
トマトのオオタバコガに対する防除効果



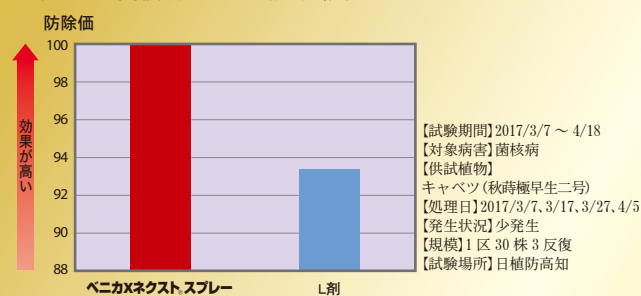
ばらのドウガネブイブイに対する防除効果



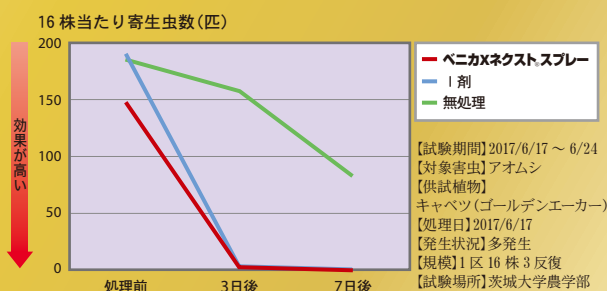
きゅうりのうどんこ病に対する防除効果



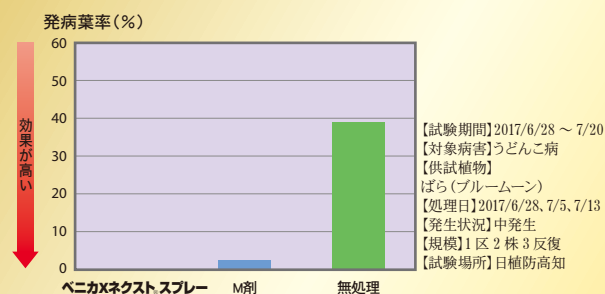
キャベツの菌核病に対する防除効果



キャベツのアオムシに対する防除効果



ばらのうどんこ病に対する防除効果





あしたを育てる。



住友化学園芸株式会社

www.sc-engei.co.jp



〒103-0016 東京都中央区日本橋小網町1-8

●商品についてのお問い合わせ先 TEL: 03(3663)1128 ^{イイニワ}
(9:30~12:00/13:00~16:30/土、日、祝日を除く)

この印刷物の記載内容は2018年10月5日現在の内容です。

18.10.5